



2024年 7月号 No.75

発行所

NPO法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

<https://oinanyo.iida-city.com>

[oinanyo-15@bz04.plala.or.jp](mailto:oinanyo-15@bz04.plala.or.jp)



## 初夏薫コンサート R6.6.28 飯田創造館

歌/平澤 見幸さん ピアノ/宮島 加津子さん



←すずちゃんもママとご一緒にスターでした。

冒頭、オペラ「ロメオとジュリエット」から始まりました。心に染み入る歌声に感動があり、酔いしれながらお聞きしました。

選曲も有りますが、良い歌は何時の時代も歌い続けられて行くことを感じました。最後の「いのちの歌」は歌詞が ~生まれたきたこと 育ててもらえたこと すべてにありがとう~ 目頭がウルルとなりました。



子供の園からかわいい訪問者！お歌と勲章をプレゼントして頂きました。“どうぞ”と言って首に掛けてもらい涙がほろり😭子どもたちの歌ごえで元気を頂きました。外では風船のプレゼントに大喜び。両手、片手に持ってルンルンと帰りました。



5月23日にNPO法人おいなんよ第22回総会が開かれました。多くの方の参加があり、地域の中の「おいなんよ」を考えさせられながら、身の引き締まる時間でした。

先日、中学生の福祉体験の生徒の一人が『体がどれだけ不自由な方でも自分の気持ちを相手に伝えることができるんだ』と感想を残してくれました。若者の感性の凄さを感じました。この気持ちを大切に大人になって欲しいと願います。

6月28日は“初夏薫コンサート”と題しまして創造館で声楽コンサートを開催しました。大雨となりましたが歌の好きな方が集まりました。しっとりとした雰囲気の中で歌を楽しみました。気が付くと7月、紫陽花が各お庭や道路を清々しく飾っています。

これからも、「おいなんよ」と共にお願いします!!

理事長 佐藤 敏子



### 三味線コンサート R6.7.11 10:30 伊賀良フォーラム

88歳の先生の民謡から始まりました。声を高らかに出すのは良い事らしく演奏者の皆さんお若くハツラツしていました。『胸にまで沁みとりました』ご利用者の声。感謝の一言です。



腹話術の塩澤さん(90歳)が腹話術と回想法を用いて、昔を思い出しながらの会話の楽しさを教えてくださいました。有難うございました。



発動機使用の日、ついでにホットプレートを使いお好み焼きを作りました。利用者さまが上手に焼いて皆さんで旨い旨いと出来立てをほおぼりました。発動機は「エンジンはこうして駆けるのです」とご利用者さまが発動して下さいました。(笑)

### まつお



まつおの畑から麻雀からボランティア村山さんの句です。

**編集後記** 2024年も二分の一を終え後半が始まりました。2024年5月で在籍20年目となる職員がおりまして「おいなんよ」初めての20年表彰を行いました。介護保険が私たちを育ててくれたのか、ご利用者様が育ててくれたのか、沢山の人たちに支えられて「おいなんよ」が感慨深い年を迎えました。何もないところから始まった「おいなんよ」は力ある職員が集まり沢山の財産(人財)となりました。始めた当初は「烏合の衆」でした。今では「瑠璃も玻璃も照らせば光る」職員に成長しています。感謝です。(い)

